

公安委員会定例会議開催状況

1 開催日時 令和6年4月17日（水）午前9時42分から午前11時49分まで

2 開催場所 公安委員会室

3 出席者

(1) 公安委員会

五十嵐委員長 竹内委員 久保田委員

(2) 警察本部

本部長 警務部長 生活安全部長 地域部長 刑事部長 交通部長 警備部長
情報通信部長 首席監察官 サイバーセンター長 警察学校長
訟務室長 暴力団対策室長 交通安全対策室長 運転管理課聴聞官
公安委員会室長

4 議事の概要

(1) 報告事項

ア 令和5年度第3回警察署協議会定例会議開催結果について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「優秀な人材確保のための方策に関して協議会から答申があったところだが、人材確保は難しい問題だと思う。民間でも応募人員が少なく経営に困っているという話を聞いた。人材確保のためのSNS活用も若年層には効果があると思う。警察における優秀な人材の確保には期待しているので引き続き取組をお願いしたい。」と意見があった。

また、委員から「特殊詐欺の防止対策が諮問事項にあるが、高齢者を対象とした特殊詐欺被害はなかなか減らない印象があるので、被害を減らすことができるよう防止対策を考えていただきたい。」と意見があった。

イ 令和6年銃砲検査の実施について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「ライフル銃と散弾銃では使用目的が違うのか。」と質問があり、警察本部から「鳥獣駆除等に使用するもので使用目的は同じである。」と回答があった。

さらに、委員から「許可要件に違いはあるのか。」と質問があり、警察本部から「ライフル銃所持申請の多くは散弾銃所持の許可を受けてから10年を経過した者による申請となる。」と回答があった。

また、委員から「検査実施日に会場へ来られない方への対応はどうしているのか。」と質問があり、警察本部から「個別に日程調整を行うなどして毎年必ず全

員の検査を実施できるよう取り組んでいる。」と回答があった。

ウ 110番通報受理状況について（令和6年3月末）

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「受理件数は増加傾向とのことで担当者の負担も増えると思うが、適切な対応をお願いしたい。」と意見があった。

エ 令和6年春巡業大相撲ぐんま場所における暴力団排除活動について

警察本部から、上記の件について報告があった。

委員から「相撲と暴力団排除活動との関係性はどのようなものがあるのか。」と質問があり、警察本部から「過去に力士による野球賭博問題が公になったことなどを契機に日本相撲協会では暴力団排除宣言を出しており、それ以降警察とも連携して暴力団排除活動に取り組んでいるものである。」と回答があった。

(2) 決裁事項

ア 警察職員の職務執行に対する苦情の受理について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

イ 放置違反金納付命令に対する審査請求の受付について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

ウ 組織犯罪対策課所管の公安委員会事務に関する専決状況について（令和6年第1四半期）

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

エ 公益財団法人群馬県交通安全協会の令和6年度事業計画書及び収支予算書の報告について

警察本部から、上記の件について説明があり、決裁した。

オ 行政処分の意見聴取結果について

警察本部から、当日実施した運転免許行政処分対象事案11件の意見聴取結果及び6件の聴聞結果について説明があり、決裁した。